

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

スウェーデンにおける2019年欧州議会選挙

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-10-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 五月女, 律子 メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/2476

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



スウェーデンにおける 2019 年欧州議会選挙

五月女 律子
神戸市外国語大学

2019 年 10 月 10 日



※

Working Papers are a series of manuscripts in their draft form. They are not intended for circulation or distribution except as indicated by the author.

For that reason Working Papers may not be reproduced or distributed without the written consent of the author.

スウェーデンにおける 2019 年欧州議会選挙

五月女 律子

1. はじめに

2019 年 5 月に行われた欧州議会選挙は、右翼ポピュリスト政党や EU（欧州連合）懐疑政党の伸張が予想され、各国での選挙結果が注目された。スウェーデンでも選挙前の世論調査では、右翼ポピュリスト政党や EU 懐疑政党に分類される政党の支持率の上昇が見られ、その動向が注視された。スウェーデンは 1995 年の EU 加盟以降、1999 年から欧州議会選挙を実施し、国政レベルの議会で 1990 年代以降に議席を持ち続けている 7 党が欧州議会でも議席を獲得しているが、2000 年以後は新党も議席を得るなど国内選挙とは異なる特徴も見られる¹。2019 年の欧州議会選挙はスウェーデンでは 5 月 26 日が投票日であったが、同年 2 月頃からマスメディアで欧州議会選挙に関する報道がなされた。

2019 年の欧州議会選挙結果に関する詳細な分析や研究は今後発表されると予想されるため²、本稿では現時点で入手可能なデータやマスメディアでの報道からスウェーデンにおける欧州議会選挙の考察を試みる。まず、次節で欧州議会の選挙運動期間における争点、各党の主張、有権者の反応、候補者の属性について考察する。3 節で投票率、各党の得票率および議席数の増減などの選挙結果を概観し、4 節で 2019 年欧州議会選挙結果と過去に実施された欧州議会選挙、2018 年の国内選挙、2019 年 5 月時点での世論調査とを比較する。最後にスウェーデンで見られた 2019 年欧州議会選挙の特徴について探りたい。

¹ 2014 年までのスウェーデンにおける欧州議会選挙結果の詳細については、五月女（2015）を参照されたい。

² 2019 年の欧州議会選挙を考察した邦文の論考としては根岸（2019）がある。

2. 選挙運動期間における政党と有権者

2.1 選挙運動期間中の争点

スウェーデンでは欧州議会選挙と国内の議会選挙において、争点や各党の得票率が異なる傾向が過去の選挙結果の分析から示されている。2014年の欧州議会選挙と国内選挙の争点を比較した研究によると、スウェーデンの有権者が欧州議会選挙の政党選択で重視する争点の上位5位は、環境・エネルギー（33%）、労働市場（15%）、統合・移民（14%）、EUと国際問題（12%）、民主主義・権利（9%）であった。同年に実施された国内選挙での順位は教育（41%）、社会問題（32%）、労働市場（30%）、統合・移民（23%）、環境・エネルギー（21%）であり、1位の教育、2位の社会問題は欧州議会選挙においてはそれぞれ15位（1%）と9位（5%）と、有権者が重視する争点に大きな相違が存在していた（Berg and Oscarsson 2015: 24）。

欧州議会選挙に向けたマニフェストが早い党では2019年2月から公表され、2月頃から欧州議会選挙に関する報道がなされるようになった。3月頃から各党が欧州議会選挙の候補者の発表を始め、報道の量も増加した。4月上旬に実施された世論調査によると、有権者が欧州議会選挙で最も重視する争点は気候、環境、エネルギーであり（Tanha 2019）、4月中旬から下旬にかけて行われた別の世論調査でも、重要視する争点の順位は1位が環境・気候、2位が移民・社会統合・難民問題であった（DN 2019）。3月上旬の報道では、欧州議会において社民党、環境党、左翼党が気候変動対策に関して最も革新的提案に賛成票を投じており、最も反対が多いのがスウェーデン民主党であることが示された（Peterson 2019b）。スウェーデンでは、2019年も環境問題が欧州議会選挙の争点として有権者の関心を集めていた。

4月末に報道されたEU加盟国におけるEU支持率に関する世論調査によると、加盟28カ国中スウェーデンでのEU支持率は5位（89%）であり³（Lindqvist 2019）、スウェーデンの有権者のEUへの評価は低いものではなかった。したがって、2019年の欧州議会選挙でもスウェーデンにおいては、EUから自国が離脱すべきか否かが争点となる状況ではなかった。

投票日の5月26日にスウェーデンテレビ（SVT: Sveriges Television）から公表された世論調査によると、重要な争点の順位は1位がヨーロッパの平和（58%）、2位が民主主義（54%）、3位が環境（51%）、4位が平等⁴（49%）、5位が犯罪防止（48%）で、移民・難民は7位（41%）であった（SVT 2019f）。ヨーロッパ地

³ 1位はルクセンブルク（94%）で最下位はイギリス（55%）であった。

⁴ スウェーデンで *jämställdhet* という言葉は従来は男女平等を指すことが多かったが、現在では男女間だけでなく LGBT なども含めるようになってきているため、本稿では日本語訳として「男女」は付けず「平等」と表記している。

域としての平和や EU における民主主義など、国内の選挙とは異なる争点が上位に位置していたといえる。

2.2 各党の主張と有権者の反応

2月の報道によると、各党が欧州議会選挙で重視する争点と予算は以下の通りであった (Peterson 2019a)。左派の3党であるが、社民党はスウェーデン国内とヨーロッパの双方で気候変動、女性の権利、法治国家、報道の自由を脅かしている極右に立ち向かうことを主張した。環境党は気候と環境、民主主義と人権の2つの分野を重視する方針を示した。左翼党が重視する争点は気候問題と民主主義であり、豊かなヨーロッパでの不平等の拡大を問題視する立場であった。

中道右派4党は、穏健党は越境犯罪とテロへの対処を重視し、ヨーロッパでの警察協力の強化を目指すことを表明した。自由党はEUでの協力の強化に賛同し、最もEUに対して積極的な政党であることを示した。中央党は寛大で環境を重視するヨーロッパを目指し、国粋主義的ポピュリズムに反対する勢力であるとの主張であった。キリスト教民主党は、EUは税制や社会福祉からは距離を置き、環境と域内市場での協力を深化すべきとの姿勢を示した。

スウェーデン民主党は、EUの境界管理の強化、移民流入の停止、EU在留資格を欠く人の送還の促進を掲げた。フェミニスト・イニシアティブは、スウェーデンとヨーロッパで法の支配、人権、平等、気候問題などを後退させている極右ナショナリズムに焦点を当てる方針を示した。

各党が欧州議会選挙のキャンペーンにかかる費用はフェミニスト・イニシアティブの100万スウェーデン・クローナから中央党の2,500万スウェーデン・クローナまでと25倍の差があったが、2月時点で公表していた政党では300万～400万スウェーデン・クローナが多かった。多くの党が有権者との直接的接触の重要性を強調し、ソーシャルメディアの利用にも力を入れる姿勢を示した。

各政党のマニフェストを見ると、最もページ数が多かったのは自由党の40頁、続いてスウェーデン民主党の34頁、環境党の28頁であった。社民党が挙げた争点は民主主義、雇用、気候、グローバルアクターとしてのヨーロッパの4項目であった。環境党は気候・環境、民主主義・人権の2項目のみを掲げていたが、その中で交通、自然、動物、食料、女性の権利、難民、平和、貧困などさまざまな事項に触れていた。左翼党のマニフェストで挙げられていた争点の初めから4つは、EUの改革、人権・連帯、女性の権利、労働条件であった。

穏健党がマニフェストで挙げた争点は、安心、環境・気候、ヨーロッパの境界管理、自由・企業・将来への信頼の4項目であった。中央党がホームページで示していた争点は、環境、気候、食料・動物保護、右翼ポピュリズムへの対抗の4

つであった。自由党のマニフェストで挙げられていた争点の初めから4つは、環境・気候、雇用・成長、市民のためのヨーロッパ、世界に開かれたヨーロッパであった。キリスト教民主党は、福祉政策の自国での決定、雇用と競争力、ヨーロッパ的価値観、環境をマニフェストの初めの4項目として記していた。

スウェーデン民主党のマニフェストで挙げられていた争点の初めから4つは、新しいEU条約、民主主義・自決、財政・予算、移民であった。フェミニスト・イニシアティブがマニフェストで挙げた争点は、暴力からの自由、公平な世界、気候・環境の3つであった。

主要政党が重視する3つの争点が示された投票日前日の報道では、全政党が気候問題を最も重要な課題として挙げ、右翼ポピュリズムへの対抗も重要視する問題として表明された (Olsson 2019)。社民党は民主主義、労働市場、気候、環境党は気候と環境、民主主義と人権、平等、左翼党は気候、人権、平等を挙げていた。穏健党は安心、環境と気候、移民、自由党は雇用と福祉、気候、安心と安全、中央党は気候、民主主義と平等、自由と安全、キリスト教民主党は福祉と超国家性、雇用と競争力、気候を3つの重要争点として示していた。スウェーデン民主党は民主主義と超国家性、移民、安全、フェミニスト・イニシアティブは開放的国境、平和なヨーロッパ、暴力と性的搾取からの自由を挙げた。

各党が欧州議会選挙に向けた動きを始めた後の世論調査の推移は、以下の表1の通りであった。

表1 世論調査での政党支持率の推移 (2019年) (単位: %)

	穏健党	中央党	自由党	キリスト教民主党	社民党	左翼党	環境党	スウェーデン民主党	フェミニスト・イニシアティブ
3月	13.7	9.2	5.0	8.9	25.5	10.6	9.2	14.3	1.2
4月	12.6	7.4	5.3	9.7	24.8	11.1	10.6	13.7	1.1
5月	15.9	8.6	5.2	9.9	23.5	7.2	10.7	16.2	1.1

出所: SVT (2019a) より筆者作成。

3月から5月の間で見ると、投票予定の政党の1位が社民党、2位がスウェーデン民主党、3位が穏健党の状態が続いた。3月にスウェーデンラジオ (Sveriges Radio) で公表された世論調査によると、男性の支持が高かった政党はスウェーデン民主党、穏健党、自由党であり、特にスウェーデン民主党は男性が20%超であるのに対して女性は10%に届かない状況で、2倍以上の差があった (Eriksson

2019)。5月時点の調査では女性のスウェーデン民主党への投票予定者が増えたが、それでも2倍近くの差があった。男性の穏健党への投票予定者が増加して男女差が広がり、環境党は女性の投票予定者の増加により、女性の間では社民党に次ぐ2位となった⁵ (Sveriges Radio 2019)。

2.3 候補者の年代と性別

スウェーデンにおける2019年欧州議会選挙では、候補者の総数が2014年の375名から556名に増加した。欧州議会に議席を持つ9党の中で候補者が最も多い政党が中央党の57名、最少が5名のフェミニスト・イニシアティブであり、左翼党とフェミニスト・イニシアティブ以外の政党は2014年と同数か候補者増であった⁶。候補者の年代と性別は以下の表2に示す状況であった。

表2 2019年欧州議会選挙の候補者の年代および性別 (単位：%)

	18-29歳	30-49歳	50-64歳	65歳以上	男	女
穏健党	18.8	43.8	34.4	3.1	53.1	46.9
中央党	19.3	61.4	19.3	0	59.6	40.4
自由党	22.0	32.0	34.0	12.0	52.0	48.0
キリスト教民主党	18.6	39.5	32.6	9.3	53.5	46.5
社民党	10.8	43.2	45.9	0	48.6	51.4
左翼党	15.8	50.0	23.7	10.5	36.8	63.2
環境党	22.5	50.0	25.0	2.5	47.5	52.5
スウェーデン民主党	10.7	60.7	28.6	0	50.0	50.0
フェミニスト・イニシアティブ	20.0	40.0	40.0	0	40.0	60.0
スウェーデン全体	17.8	42.3	31.3	8.6	58.1	41.9

*この表では2014年の欧州議会選挙で議席を獲得した政党のみを表記しており、スウェーデン全体の数値は上記9党を含めて候補者を出した全政党のデータから算出されている。

出所：Valmyndigheten (2019c) のデータより筆者作成。

政党によってばらつきはあるが、30～49歳の候補者の割合が高い政党が多く、65歳以上の候補者は割合が低かった。男女の比率も政党によって異なり、全体として中道右派4党で女性候補者の比率が低い、最も女性の割合が低い中央

⁵ 3月の調査では4位であった (Eriksson 2019)。

⁶ 2014年から最も候補者数が増加したのが中央党 (14名増) で、左翼党は1名減、フェミニスト・イニシアティブは3名減であった (Valmyndigheten 2014; 2019c)。

党でも 40.4%であり、9 党中 5 党は 5 割以上であった。

3. 選挙結果 — 中道右派政党とスウェーデン民主党の伸張

投票日前日の 25 日時点で期日前投票数が過去最多であり、投票率も 50～55% と過去最高となる予想が報じられる中 (Mossige-Norheim 2019)、実際の投票率は 55.27%と前回の 2014 年から 4.20 ポイント上昇した (Valmyndigheten 2019a)。2019 年のスウェーデンでの欧州議会選挙の結果は次の表 3 の通りであった。

表 3 2019 年欧州議会選挙結果 (合計 20 議席)

	穏健党	中央党	自由党	キリスト教 民主党	社民党	左翼党	環境党	スウェーデン 民主党	フェミニスト・ イニシアティブ
得票率 (%)	16.83 (+3.18)	10.78 (+4.30)	4.13 (-5.79)	8.62 (+2.69)	23.48 (-0.71)	6.80 (+0.50)	11.52 (-3.89)	15.34 (+5.68)	0.77 (-4.71)
議席数	4 (+1)	2 (+1)	1 (-1)	2 (+1)	5 (0)	1 (0)	2 (-2)	3 (+1)	0 (-1)

* 下段 () 内は 2014 年欧州議会選挙からの増減。

出所: Valmyndigheten (2019a; 2019b) のデータより筆者作成。

全体としては中道右派政党が得票率を伸ばして議席を増やし、環境や男女平等といった単一争点政党と見られがちな政党が議席を減らしたといえる。個別に見ると、得票率の上昇が大きかったのがスウェーデン民主党、中央党、穏健党、キリスト教民主党で、大幅に減少したのが自由党、フェミニスト・イニシアティブ、環境党であった。

スウェーデンは欧州議会での議席数の配分が 20 議席と多くないため、得票率の増減で議席数が大きく変わることはあまりない。ただし、スウェーデンでは過去に欧州議会選挙で新党が議席を獲得する傾向が見られ、2004 年には 6 月リストという EU 懐疑政党、2009 年には海賊党、2014 年にはスウェーデン民主党とフェミニスト・イニシアティブが初めて議席を獲得した。6 月リスト、海賊党、フェミニスト・イニシアティブは次の欧州議会選挙で議席を失っており、2 回連続で欧州議会選挙において議席を獲得した新党は現在までのところスウェーデン民主党のみである。

右翼ポピュリスト政党や EU 懐疑政党の欧州議会選挙での躍進は各国で注目され、スウェーデンでも国際問題を対象としている研究機関から 2019 年 2 月に冊子が発行されるなど (Norman 2019)、ヨーロッパ全体の動向としても注視された。スウェーデンでも右翼ポピュリスト政党や EU 懐疑政党に分類されることの多いスウェーデン民主党が得票率を大きく伸ばし、国政レベルの議会と同じく、社民党、穏健党に次ぐ第 3 党の位置となった。

4. 考察

以下では前回 2014 年に実施された欧州議会選挙、2018 年の国内選挙、2019 年 5 月時点での世論調査と 2019 年欧州議会選挙結果を比較し、スウェーデンにおける欧州議会選挙の特徴について探る。

4.1 過去の欧州議会選挙からの変化と継続

まず投票率であるが、スウェーデンでは 2004 年以降上昇し、2009 年からは EU 平均を上回っている (Europaparlamentet 2019)。しかし、2018 年の国政選挙の投票率が 87.18%であったことを考えると、55.27%はかなり低いといえる。欧州議会選挙の投票率の低さは多くの EU 加盟国に共通する課題であるが、国内選挙と比較してスウェーデンで関心が薄い状況が大きく変化したとは言い難い。

期日前投票は増加したが、投票日前の最終週に投票政党を決めた有権者が全体としては 41%であり、2009 年の 43%、2014 年の 39%からあまり変化はないといえる。政党別では、中央党、自由党、穏健党、環境党、フェミニスト・イニシアティブ、キリスト教民主党の順に最終週に投票政党を決めた有権者の割合が高く (42%以上)、穏健党以外は 2009 年および 2014 年と大きな変化は見られなかった⁷。最終週に決めた割合が最も低いのはスウェーデン民主党で、2009 年から 20%台が続いており、直前に投票先として選択する有権者の割合が低い傾向が継続している (SVT 2019c)。

世論調査によると、2019 年の欧州議会選挙でもスウェーデンにおいては前回の 2014 年同様に環境問題が最重要視されていたが、難民・移民・社会統合の問題は 2014 年の 5 位から 2 位に上昇した⁸ (DN 2019)。別の世論調査では、2014 年と比較して有権者が重視する割合が上がった争点は、犯罪防止、民主主義、平

⁷ 穏健党は 2009 年、2014 年の欧州議会選挙では最終週に投票政党を決めた有権者の割合がそれぞれ 31%、34%であったが、2019 年は 52%に増加した。

⁸ 有権者が欧州議会選挙で重視した争点は、新聞社 (Dagens Nyheter) が行った世論調査によると以下の通りであった。2014 年は 1 位 環境 (15%)、2 位 学校・教育 (10%)、3 位 失業率・雇用 (10%)、4 位 医療 (8%)、5 位 難民・移民・社会統合 (7%)、2019 年は 1 位 環境・気候 (23%)、2 位 移民・社会統合・難民問題 (21%)、3 位 EU の影響力・EU に対する義務・EU 離脱 (7%)、4 位 犯罪・法・秩序・テロ (4%)、5 位 経済 (4%)。

等であり、特に犯罪防止は 8.3 ポイント上昇していた。重要視する割合が減少した争点は、雇用、経済、社会福祉であり、雇用は 2014 年に 5 位であったが 2019 年は 12 位であった (SVT 2019f)。環境問題に力を入れている環境党と中央党の得票率が欧州議会選挙で高く、治安やヨーロッパの境界管理の強化を重視する姿勢を示した穏健党とスウェーデン民主党が前回の欧州議会選挙から得票率を伸ばした結果と合致するといえる。

2 節の表 2 で示した候補者の年代と性別であるが、2014 年と比較して 50~64 歳が 3 ポイント増、65 歳以上が 1 ポイント増であり、若干年齢層は上がったが、大きな差はなかった。候補者に占める女性の割合は 2014 年の 46.4%から 41.9%へと低下した⁹。ただし、欧州議会ですウェーデンから選出された議員における女性の割合は 2004 年まで 40%台であったが、2009 年は 56%、2014 年と 2019 年は 55%と半数を超える状況が続いている (Europaparlamentet 2019)。候補者に占める女性の割合は政党によって異なるが、2019 年は全体としては 41.9%であったため、政党の選挙名簿の順位や有権者の指名投票によって、女性が選ばれる機会があると考えられる。

選挙前の世論調査で 2014 年時点と比較して自身を右派と位置づける有権者が増加しており¹⁰、穏健党、中央党、キリスト教民主党、スウェーデン民主党が得票率を伸ばした選挙結果と合致したといえる。穏健党とスウェーデン民主党の得票率が伸びた背景としては移民問題、中央党は同党の気候政策に対する高い信頼が存在するとの指摘がなされている (Stenberg 2019)。

得票率を落とした政党を見ると、社民党は従来の支持者が他党に流れているデータが示されている。社民党の主要な支持母体として国内最大規模の労働組合である LO (スウェーデン労働者連盟)¹¹があるが、2014 年 5 月の欧州議会選挙で LO の組合員の 55%が社民党に、12.6%がスウェーデン民主党に投票していた。同年 9 月の国政レベルの議会選挙では 41%が社民党、24%がスウェーデン民主党と、社民党は支持を落とした。2019 年 4 月に行われた世論調査では、LO の組合員のうち欧州議会選挙で社民党に投票すると答えたのが 32.2%、スウェーデン民主党は 26.5%と、僅か 5.7 ポイント差に縮まっていた (Nordenskiöld 2019)。社民党は従来の支持層を徐々に失っている状態であるといえる。

スウェーデンが EU の加盟国であることに対する世論の支持は高く、1996 年 11 月以降定期的に行われている世論調査のデータによると、2019 年 5 月は過去

⁹ 2014 年のデータは Valmyndigheten (2014) による。

¹⁰ 2014 年は自身を左派と位置づける有権者が 43%、右派が 36%であったが、2019 年は左派が 37%、右派が 42%であった (SVT 2019e)。

¹¹ スウェーデン語の名称は Landsorganisationen i Sverige で、1898 年に創設されたブルーカラー労働者の全国労働組合である。

最高の 61.9%が支持という結果であった (SCB 2019b)。スウェーデンテレビによる調査でも、EU に対しては積極的評価が否定的評価を上回り、スウェーデンの EU 離脱については EU 残留を望む割合が圧倒的であった。スウェーデンの有権者が EU の加盟国であることに対してこれまでで最も肯定的な姿勢である背景として、2015 年の欧州難民危機と気候変動があり、多くのスウェーデン人がこれらの問題で EU が重要な役割を担っていると認識していることが指摘されている (Stenberg 2019)。

ただし、EU を連邦化して EU の権限を強化することには否定的な割合が高い (SVT 2019b)。別の世論調査でも EU レベルで扱う政治的問題の増減を問う質問において、より減らす (45%)、現状で良い (31%)、より増やす (9%)、わからない (14%) (Rosén 2019) と、EU の権限の強化は望まない有権者が多い。世論調査によるとスウェーデンでは現状以上の EU への権限委譲を望まない傾向が強く、EU での協力や EU 自体の強化に賛同する自由党への支持が伸びなかった要因であると推測できる。

4.2 2018 年選挙および世論調査との比較

スウェーデンで 2018 年 9 月に行われた国政レベルの議会選挙における各党の得票率と 2019 年 5 月時点の世論調査を比較すると、表 4 に示す状況であった。

表 4 2018 年選挙と欧州議会選挙での得票率の差と 2019 年 5 月の政党支持率

	2018 年選挙得票率	2019 年 5 月支持率
穏健党	19.84 (-3.01)	16.9
中央党	8.61 (+2.17)	7.9
自由党	5.49 (-1.36)	5.1
キリスト教民主党	6.32 (+2.30)	10.5
社民党	28.26 (-4.88)	30.3
左翼党	8.00 (-1.20)	9.2
環境党	4.41 (+7.11)	5.4
スウェーデン民主党	17.53 (-2.19)	12.8

*得票率および支持率の単位は%、() 内は 2019 年欧州議会選挙結果での増減。

出所：Valmyndigheten (2018) および SCB (2019a) より筆者算出・作成。

5月の政党支持率に関する世論調査は、欧州議会の選挙運動期間および投票日を含んだ4月29日から5月28日に実施された（SCB 2019a）。キリスト教民主党を除く中道右派3政党とスウェーデン民主党は支持率を落とし、与党の社民党と環境党および左翼党の左派3政党は支持率が上がっていた。

社民党と連立政権を構成している環境党は国内での支持率は伸び悩んでいるが、欧州議会選挙では得票率が上昇する傾向にある。先述の通り2014年の欧州議会選挙に関する調査によると、環境・エネルギーは有権者が投票政党選択で最も重視した争点であり、スウェーデンの有権者がEUでの環境政策の推進・強化を望んでいる表れであると考えられる。2019年の欧州議会選挙でも、自党が最重要視する政策として環境問題を掲げている環境党と中央党が国内選挙と比較して得票率を伸ばしたのは、有権者が国内選挙とは異なる争点を重視している証左であるといえる。特に環境党は2014年から得票率を落として議席を減らしたとはいえ、2018年の国内選挙より7ポイント以上も得票率が高かった。

対照的に、スウェーデン民主党は2014年と比較して得票率を伸ばして1議席増となったものの、2018年の国内選挙より得票率は減少している。スウェーデン自体がEUよりも難民の受け入れを積極的に行っていたため、有権者の反移民・難民感情が反EUに繋がらなかったと推測できる。また、穏健党がヨーロッパの境界管理および警察協力の強化や治安を重要分野として取り上げたことも、スウェーデン民主党への票の流入を止めたと考えられる。

2018年選挙と2019年欧州議会選挙での投票政党の移動を分析した調査（STV 2019d）によると、2018年に自由党に投票した有権者のうち2019年も同党に投票したのは36%であり、21%は穏健党、19%は中央党へと投票政党を変えていた。2019年欧州議会選挙でキリスト教民主党に投票した有権者のうち27%は2018年には穏健党に投票していた。2019年に環境党に投票した有権者のうち2018年選挙で24%は社民党に、16%は左翼党に、10%は中央党に投票していた。スウェーデン民主党は2018年に投票した有権者のうち83%が2019年も投票し、両選挙で同一政党に投票した有権者が他党は30~70%台の中で、支持者の固定化が強いといえる。

スウェーデンでは欧州議会選挙と国内選挙で中心となる争点が異なるため、投票政党が両選挙で一致しない有権者が一定数いると見られるが、スウェーデン民主党への投票者は欧州議会選挙と国内選挙の双方で固定化する傾向が表れている¹²。また、2006年以降はスウェーデン民主党の得票率が上昇しており、2019年欧州議会選挙も2018年選挙と比較すると減少したとはいえ、前回の2014年欧州議会選挙から得票率を大きく伸ばしている。2019年時点では移民・難民

¹² 2018年9月に実施された国内選挙の考察は五月女（2019）を参照されたい。

のヨーロッパへの流入は多少の落ち着きを見せているが、次回の国内選挙の予定は 2022 年、欧州議会選挙は 2024 年であり、その時点でスウェーデン民主党がどの程度の支持を得るかは不透明である。

5. おわりに

2019 年の欧州議会選挙はヨーロッパ各国において右翼ポピュリスト政党や EU 懐疑政党の議席がどの程度増加するかが注目されたが、スウェーデンは配分議席が 20 と少ないことから、右翼ポピュリスト政党・EU 懐疑政党といわれるスウェーデン民主党が大躍進という状態にはならなかった。全体としては中道右派政党が議席を増やし、環境党とフェミニスト・イニシアティブという左派が議席を減らす結果となった。

スウェーデンでは、国政レベルの議会で議席を持たない政党が欧州議会選挙では議席を獲得する傾向が見られたが、2019 年は国内と同じく 8 党が議席を得て、得票率の順位も第 3 党までは同じであった。欧州議会選挙と国内選挙では重要争点が異なるため、2014 年の欧州議会選挙までは反ユーロ、インターネット上の制限廃止、男女平等などを主張する政党が得票を伸ばしたが、議席の獲得は 1 回の選挙のみにとどまり、次回の選挙では議席を失ってきた。新党の中では、スウェーデン民主党のみが欧州議会選挙と国内選挙の双方で議席を獲得し続けており、得票率も伸ばしている。ただし、この傾向が今後もスウェーデンで継続するか否かを現時点で判断するのは難しい。

次回の欧州議会選挙は 2024 年の予定であり、その時にヨーロッパにおいて右翼ポピュリスト政党や EU 懐疑政党の動向が重要になるのか、別の課題が争点となるのかは予測できない。近年はヨーロッパ諸国で若者を中心に気候変動や環境問題が注目されており、移民・難民問題が落ち着けばそれらの政策分野が重視される可能性もある。今後 EU がどのような分野での統合・協力を力を入れ、それを有権者がどのように判断するかによって、欧州議会選挙で得票率を伸ばす政党が変化することになるであろう。

引用・参考文献

- Berg, Linda and Henrik Oscarsson (2015) *Supervalåret 2014*, Demokratistatistik Rapport 20, Statistiska centralbyrån (SCB).
- DN (Dagens Nyheter) (2019) “Guide till EU-valet 2019: Det står partierna för i väljarnas viktigaste frågor”, *Dagens Nyheter*, publicerad 2019.5.24, <<https://www.dn.se/nyheter/politik/guide-eu-valet-2019-det-star-partierna-for-i-valjarnas-viktigaste->

- fragor/>, accessed May 25, 2019.
- Eriksson, Mats (2019) "Så ser stödet ut för partierna inför EU-valet", Sveriges Radio, publicerad 2019.3.27, <<https://sverigesradio.se/sida/artiker.aspx?programid=83&artiker=7184568>>, accessed May 25, 2019.
- Europaparlamentet (2019) "Sverige", Europeiska valresultat 2019, 2019.6.3-7.8, <<https://valresultat.eu/nationella-resultat/sverige/2019-2024>>, accessed September 10, 2019.
- Feministiskt initiativ (2019) *Ett feministiskt Europa! Valplattform Europaparlamentsvalet 2019*, 2019.3.11, <https://feministisktinitiativ.se/wp-content/uploads/2019/03/valplattform_a4_20190311.pdf>, accessed May 23, 2019.
- Kristdemokraterna (2019) *Make EU Lagom Again - Valmanifest 2019*, 2015.5, <https://kristdemokraterna.se/wp-content/uploads/2019/05/valmanifest_marg-3.pdf>, accessed May 23, 2019.
- Liberalerna (2019) *Ja till Europa! Liberalernas program inför valet till Europaparlamentet 2019*, 2019.2, <<https://www.liberalerna.se/wp-content/uploads/1902-eu-program-1.pdf>>, accessed May 23, 2019.
- Lindqvist, Jesper (2019) "Ny undersökning: Starkt stöd för fortsatt EU-medlemskap", *Metro*, publicerad 2019.4.28, <<https://www.metro.se/artikel/ny-undersokning-starkt-stod-for-fortsatt-eu-medlemskap>>, accessed May 20, 2019.
- Miljöpartiet de gröna (2019) *Valmanifest EU-val*, <<https://www.mp.se/sites/default/files/eu-valmanifest.pdf>>, accessed May 23, 2019.
- Moderaterna (2019) *Vi gör Sverige tryggare - Moderaternas valmanifest i Europavalet 2019*, 2019.5, <https://moderaterna.se/sites/default/files/page_attachments/2019-05/Valmanifesttryck_0.pdf>, accessed September 9, 2019.
- Mossige-Norheim, Thea (2019) "Rekordhøgt antal förtidsröstande i EU-valet", *Dagens Nyheter*, publicerad 2019.5.25, <<https://www.dn.se/nyheter/politik/rekordhogt-antal-fortidsrostande-i-eu-valet>>, accessed May 25, 2019.
- Nordenskiöld, Tomas (2019) "Löfvens ras hos LO-väljarna - SD går kraftigt framåt", *Expressen*, publicerad 2019.5.23, <<https://www.expressen.se/nyheter/eu-valet-2019/lofvens-ras-hos-lo-valjarna-sd-gar-kraftigt-framat/>>, accessed May 25, 2019.
- Norman, Ludvig (2019) *EU-valet enar Europas populisterna*, Världspolitikens Dagsfrågor, 2019/2, Utrikespolitiska institutet.
- Olsson, Hans (2019) "Här är frågorna som partierna själva lyfter fram", *Dagens Nyheter*, publicerad 2019.5.25, <<https://www.dn.se/nyheter/politik/har-ar-fragorna-som-partierna-sjalva-lyfter-fram/>>, accessed May 26, 2019.

- Peterson, David (2019a) "Partierna: Så många miljoner lägger vi på EU valet", *Metro*, publicerad 2019.2.20, <<https://www.metro.se/artikel/partierna-sa-manga-miljoner-lagger-vi-pa-eu-valet>>, accessed May 20, 2019.
- _____ (2019b) "Rödgröna driver tuffast klimatkraven i EU - SD röstar mest nej", *Metro*, publicerad 2019.3.19, <<https://www.metro.se/artikel/rodgrona-driver-tuffast-klimatkraven-i-eu-sd-rostar-mest-nej>>, accessed May 20, 2019.
- Rosén, Hans (2019) "DN/Ipsos: Svenskarna vill inte ge EU mer makt", *Dagens Nyheter*, publicerad 2019.5.25, <<https://www.dn.se/nyheter/politik/dnipsos-svenskarna-vill-inte-ge-eu-mer-makt/>>, accessed May 26, 2019.
- SCB (Statistiska centralbyrån) (2019a) "Partisymptier maj 2019", 2019.6.11, <<https://www.scb.se/hitta-statistik/statistik-efter-amne/demokrati/partisymptier/partisymptiundersokningen-psu/pong/statistiknyhet/partisymptier-maj-2019/>>, accessed July 31, 2019.
- _____ (2019b) "EU-sympatier 1996-2019", senast uppdaterad 2019.6.11, <<https://www.scb.se/hitta-statistik/statistik-efter-amne/demokrati/partisymptier/partisymptiundersokningen-psu/pong/tabell-och-diagram/eu--emu-sympatier/eu-sympatier/>>, accessed July 31, 2019.
- Socialdemokraterna (2019) *För demokrati och jämlikhet, mot klyftor och extremism - Valmanifest för EU-valet 2019*, 2019.5.14, <https://www.socialdemokraterna.se/globalassets/aktuellt/2019/190514---valmanifest_1.pdf>, accessed May 23, 2019.
- Stenberg, Ewa (2019) "Ewa Stenberg: En svensk högervåg i EU-valet", *Dagens Nyheter*, publicerad 2019.5.26, uppdaterad 2019.5.27, <<https://www.dn.se/nyheter/politik/ewa-stenberg-en-svensk-hogervag-i-eu-valet>>, accessed May 28, 2019.
- Sverigedemokraterna (2019) *Valplattform Europaparlamentsvalet 2019*, 2019.4, <https://ratatosk.sd.se/sd/wp-content/uploads/2019/04/02121655/EU-Valplattform-2019_final.pdf>, accessed May 23, 2019.
- Sveriges Radio (2019) "Senaste nyheterna om EU-valet", publicerad 2019.5.25, <<https://sverigesradio.se/sida/artikel.aspx?programid=83&artikel=7226413/>>, accessed May 25, 2019.
- SVT (Sveriges Television) (2019a) "Så tänker svenskarna rösta i EU-valet", publicerad 2019.3.27, uppdaterad 2019.5.24, <<https://www.svt.se/datajournalistik/sa-tanker-svenskarna-rosta-i-eu-valet/>>, accessed May 25, 2019.
- _____ (2019b) "Så tycker väljarna om EU", *Valu 2019*, svt VALU, publicerad 2019.5.26, uppdaterad 2019.5.27, <<https://www.svt.se/datajournalistik/euval2019/vad-tycker-valjarna-om-eu/>>, accessed June 30, 2019.

- _____ (2019c) “Fler bestämde sig under sista veckan”, *Valu* 2019, svt VALU, publicerad 2019.5.26, uppdaterad 2019.5.27, <<https://www.svt.se/datajournalistik/euval2019/sa-manga-bestamde-sig-sista-veckan/>>, accessed June 30, 2019.
- _____ (2019d) “Partibytare mellan valen”, *Valu* 2019, svt VALU, publicerad 2019.5.26, <<https://www.svt.se/datajournalistik/euval2019/partibytare/>>, accessed June 30, 2019.
- _____ (2019e) “Höger eller vänster? Så tycker väljarna”, *Valu* 2019, svt VALU, publicerad 2019.5.26, uppdaterad 2019.5.27, <<https://www.svt.se/datajournalistik/euval2019/vanster-hoger/>>, accessed June 30, 2019.
- _____ (2019f) “Väljarnas viktigaste frågor”, *Valu* 2019, svt VALU, publicerad 2019.5.26, uppdaterad 2019.5.27, <<https://www.svt.se/datajournalistik/euval2019/valjarnas-viktigaste-fragor/>>, accessed June 30, 2019.
- Tanha, Sophie (2019) “Viktigaste frågorna i EU-valet enligt väljarna”, *Metro*, publicerad 2019.4.9, <<https://www.metro.se/artikerl/viktigaste-fågorna-i-eu-valet-enligt-valjarna>>, accessed May 20, 2019.
- Valmyndigheten (2014) “Val till Europaparlamentet - Ålder och kön”, 2014.5.30, <<http://www.val.se/val/ep2014/alkon/E/rike/alderkon.html>>, accessed 2014.7.30.
- _____ (2018) “Val till riksdagen - Röster”, 2018.9.16, <<http://data.val.se/val/val2018/slutresultat/R/rike/index.html>>, accessed September 17, 2018.
- _____ (2019a) “Val till Europaparlamentet - Röster”, 2019.5.31, <<https://data.val.se/val/ep2019/slutresultat/E/rike/index.html>>, accessed June 4, 2019.
- _____ (2019b) “Val till Europaparlamentet - Valda”, 2019.5.31, <<https://data.val.se/val/ep2019/slutresultat/E/rike/valda.html>>, accessed June 4, 2019.
- _____ (2019c) “Val till Europaparlamentet - Ålder och kön”, 2019.5.31, <<https://data.val.se/val/ep2019/slutresultat/E/rike/alderkon.html>>, accessed June 4, 2019.
- Vänsterpartiet (2019) *Vänsterpartiets valplattform, EU-valet 2019: Ett Europa för alla - inte bara för de rika*, 2019.2, <<https://www.vansterpartiet.se/app/uploads/2019/02/v-valp-EU2019.pdf>>, accessed May 23, 2019.
- 五月女律子 (2015) 「スウェーデンにおける 2014 年欧州議会選挙」『EUIJ-Kyushu Review』 Issue 5 : 1-25.
- _____ (2019) 「スウェーデンにおける選挙 —2014 年と 2018 年の選挙を比較して」『神戸外大論叢』第 71 巻第 2 号 : 11-29 (11 月刊行予定)。
- 根岸隆史 (2019) 「2019 年欧州議会選挙結果の影響 —欧州懐疑主義・Brexit と

欧州の分断」『立法と調査』No. 414 : 154-175、<https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/rippou_chousa/backnumber/2019pdf/20190701154s.pdf>、
2019年9月15日閲覧。

謝辞： 本稿は、日本学術振興会研究拠点形成事業（A.先端拠点形成型）「日欧圏におけるコミュニティの再生を目指す移住・多文化・福祉政策の研究拠点形成」（2016-2020年度）による成果の一部です。